

事務事業名	つどいの広場いづか管理事業					事務事業No.	341 - 3	
1. 基本情報								
担当部	担当課	担当係	作成者職名	作成者氏名	所属長職名	所属長氏名		
こども未来部	こども家庭課	青少年対策担当	課長補佐	永田 誠司	課長	野見山 真理		
施策体系	総合計画	政 策	3	健幸・子育て				
		施 策	4	子育て支援の推進				
		基本事業	1	子育て支援の推進				
	その他の計画	個別計画	-					
根拠法令・条例・要綱等	-							
事業開始年度	2003年度	事業終了年度	未定	事務事業類型	施設維持管理事業			
実施手法	全部直営	補助金等の支給	なし	実施計画期間	-			
2. 事務事業の概要及び目的（決算成果説明書と運動）								
概 要	(合併前の飯塚市の幼稚園統廃合の実施に伴い、空きスペースとなった旧幼稚園の園舎及び敷地を利用して) 子育て支援に関する団体・個人が、無料で利用できる子育て支援拠点施設として、施設の維持管理を行政、運営を子育て支援のボランティア団体が行う形態をとり、官民協働で「つどいの広場いづか」を開設している。							
対 象	働きかける相手・もの	つどいの広場いづか						
手 段	方法・働きかけ(活動指標)	子育て支援のボランティア団体に運営をさせるとともに、行政が安全で快適に利用できるよう適切な施設の維持管理を行う						
意 図	対象をどのようにしたいか(成果指標)	多くの子育て支援に関する団体・個人が有効利活用できるようにする						
3. 活動指標（決算成果説明書と運動）								
指標名	単位	指標の説明（算式等）		前年度実績	本年度実績	次年度見込		
開所日数	日	広場開所日数		349	347	330		
施設維持管理の実施	回	浄化槽保守点検・樹木管理・消防設備点検の実施回数		3	3	3		
4. 成果指標（決算成果説明書と運動）								
指 標	年間利用者数	単位	達成目標値		前年度実績	本年度実績	次年度見込	
		人	10,000	目標値	10,000	10,000	10,000	
説 明	広場を利用した人数	方向性	達成目標年度	実 績	8208	7,841		
		維持	毎年度					
指 標		単位	達成目標値		前年度実績	本年度実績	次年度見込	
				目標値				
説 明		方向性	達成目標年度	実 績				
指 標		単位	達成目標値		前年度実績	本年度実績	次年度見込	
				目標値				
説 明		方向性	達成目標年度	実 績				
5. 事務事業実施にかかるコスト（決算成果説明書と運動）								
経費区分	一般会計	経常経費			特別会計	-		
予算科目・事業	会計 1	一般会計	款 3	民生費	項 1	社会福祉費	目 1 社会福祉総務費	
	大 4	社会福祉施設管理運営事業費		中 6	つどいの広場管理費 他 0 事業			
投入人員 (当該事務事業に対して1年間に投入した人員)	(R2以降)	前年度実績(千円)	本年度実績(千円)		増減理由(10%以上の場合)		次年度予算(千円)	
	正職員	0.15 人	1,192	0.10 人	815	令和5年度は遊具設置工事を実施したが、令和6年度は実施なしのため減額となったもの	0.15 人 1,222	
	任期付職員(保育士)	0.00 人	0	0.00 人	0		0.00 人 0	
	任期付職員(子ども家庭支援員)	0.00 人	0	0.00 人	0		0.00 人 0	
	任期付職員(CW・水質)	0.00 人	0	0.00 人	0		0.00 人 0	
	再任用フル	0.00 人	0	0.00 人	0		0.00 人 0	
	再任用短	0.00 人	0	0.00 人	0		0.00 人 0	
	1級フル	0.00 人	0	0.00 人	0		0.00 人 0	
1級パート	0.00 人	0	0.00 人	0	0.00 人 0			
2級パート	0.00 人	0	0.00 人	0	0.00 人 0			
人件費計(A)		1,192		815		1,222		
事業費	直接事業費(B)	4,455		2,597		2,772		
	総事業費(A+B)	5,647		3,412		3,994		
直接事業費のうち の主な歳出内訳	工事請負費	2,959		0		0		
	需用費	574		610		965		
財源内訳	使用料・手数料(受益者負担分)	0		0		0		
	国・県支出金	0		0		0		
	市債	0		0		0		
	一般財源	5,643		3,408		3,990		
その他(市有土地貸付料)	4		4		4			

6. 事務事業の事後評価★			
評価視点		評価	評価の理由、または認識している課題を記載
妥当性 評価		やや低い	市が施設管理を行うことにより、子育て支援のNPO法人は子育て支援活動に専念することができるとしているが、近年では利用団体の固定化がみられる。
効率性 評価		やや高い	受益者負担がなく、利用可能な施設である。
有効性 評価		やや高い	利用団体に偏りが見られるものの、一般の利用者も含め利用者数は横ばいである。
7. 前年度評価時の計画と実績			
前年度評価★		前年度記載した改善策（課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策）★	
評価区分	成果の方向性	次年度以降に予算（コスト）を必要とせず、直ちに実施できる改善策	必要に応じて室内の清掃や除草作業等を行い、環境整備に努める。  屋上の清掃や樹木の伐採等、適切な時期に実施することにより、施設の維持管理に努める。 また、中長期的な改善策としては、施設の移転について検討する。
	現状維持		
	コストの方向性	次年度以降に予算（コスト）増を必要とし、中長期的に実施する改善策	
一次評価	現状維持		
前年度改善策に対する実績 ★ ※上記の改善策に対して今年度を実施できたこと、などを記入			
樹木の伐採を実施し、施設の維持管理に努めた。			
8. 今年度評価における成果と課題（決算成果説明書と連動）★			
【成果】	運営をNPO法人、施設管理を行政が行うという協働のかたちで、地域の子育て支援拠点施設として旧幼稚園跡地を有効活用できている。		
【課題】	旧鯉田幼稚園跡地を公設民営の子育て支援施設として平成15年から使用している。施設としての耐用年数を超えた状態で老朽化が顕著であり、不特定多数の利用者が安全に過ごすことができる状態の維持が困難となっている。		
9. 今後の事業の方向性と改善策			
成果の方向性		【理由】施設としての耐用年数を超えた状態で老朽化が顕著であり、不特定多数の利用者が安全に過ごすことができる状態の維持が困難となっている。 また、運営団体との協議の結果、令和7年度末での当施設での活動を終了することとなったため、令和7年度末をもって廃止とする。	
廃止			
コスト投入の方向性		【理由】令和7年度末をもって廃止とする。	
縮小			
次年度以降の改善策（課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策）★			
コスト（人・予算等）を必要とせず、ただちに実施できる改善策		必要に応じ施設内の清掃、除草作業等を実施し、環境整備に努める。	
コスト（人・予算等）を必要とし、中長期的に実施する改善策		運営団体より、令和7年度末で当施設での活動を終了することが総会で決定したとの報告があったため、令和7年度末をもって廃止とし、跡地の有効活用策が決定するまでの間については、施設周辺の草刈り等の簡易な維持管理を行う。	
評価変更理由	成果の方向性	施設面での老朽化と、団体の運営面でも継続が困難であることから事業の方向性は廃止。  廃止に伴いコストは縮小。	
	廃止		
	コスト投入の方向性		
	縮小		